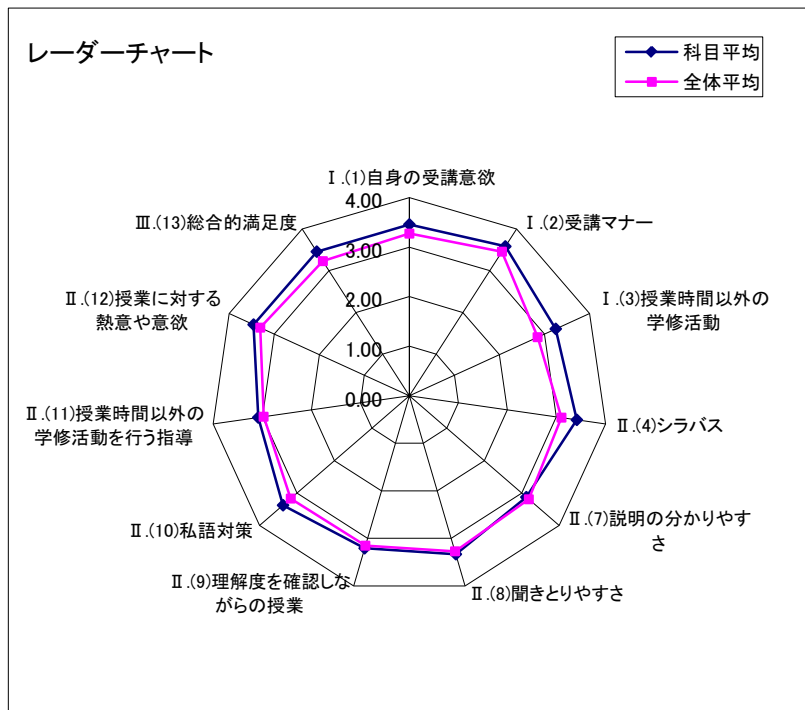


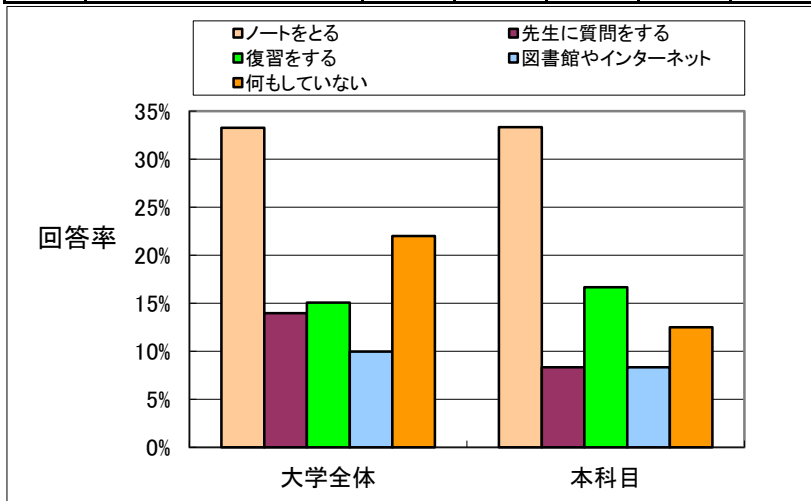
講義科目 授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.46	3.27
	I.(2)	3.58	3.46
	I.(3)	3.25	2.85
講義内容・方法	II.(4)	3.42	3.10
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.13	3.19
	II.(8)	3.33	3.27
	II.(9)	3.21	3.15
	II.(10)	3.38	3.17
	II.(11)	3.08	2.97
	II.(12)	3.46	3.31
	総合評価	III.(13)	3.46

※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	0.33	0.08	0.17	0.08	0.13



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.43	3.19
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.29	3.17
II.(4)~(12)		
総合評価	3.46	3.23
III.(13)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度 前期
時間割番号	1433
科目名	マクロ経済学 I・マクロ経済学
教員名	

①授業計画の達成度について
 授業計画は、IS/LM分析とその活用例(財政・金融政策)までと、当初の予定通り進めることができました。

②授業の進め方について
 授業は、板書方式を柱として、時折補助プリントの配布と理解度チェックを行った。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 大半は熱心に受講している印象であり、私語等につき注意する必要性はほとんどなかった。マクロ経済学は理論分野であるが、経済ニュースや新聞の経済記事とも密接に関連し、生きた学問として興味・関心を深め、学修への意欲を持続させることができるはずである。その点で、現実と理論との結びつきについて、もう少し時間を割くことができれば、学生の満足度ももう少し高まったのではないと思われる。今後は、今以上に、実証的な側面を重視して授業を行っていきたい。併せて受講する学生には、単に単位を修得するというだけでなく、問題意識をもって取り組んでほしい。